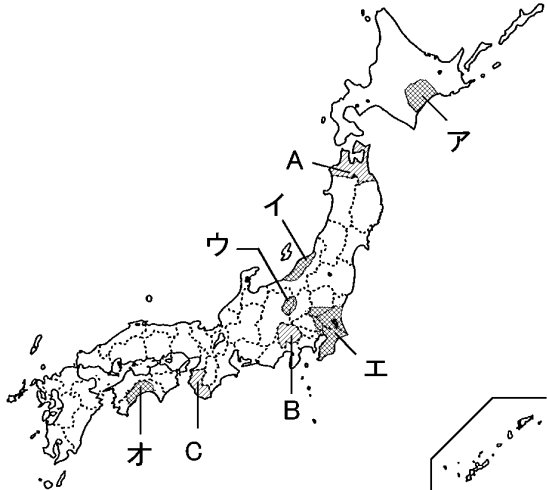


得点	演習問題	実施日	月 日	氏名

【1】日本の農業について、次の問いに答えなさい。



(1) 地図中の A～C の県で栽培がさかんな果物を、次からそれぞれ選び記号で答えなさい。

A() B() C()

ア みかん イ りんご ウ ぶどう

(2) 次の文にあてはまる地域を、地図中のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① この地域は、暖かい気候を利用して野菜の促成栽培がさかんである。 ()

② この地域は、冷涼な気候を利用して野菜の抑制栽培がさかんである。 ()

③ この地域は、野菜や花などの近郊農業がさかんである。 ()

④ 日本でも有数の稲作地帯のこの地域は、コシヒカリの銘柄米で知られる。 ()

(3) 日本の農業の特色について述べた次の文のうち、誤っているものを選び、記号で答えなさい。 ()

ア アメリカの企業的な農業と比べると、規模の小さい自作農が多い。

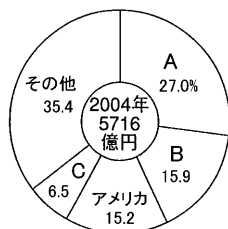
イ 品種改良や肥料の使用などにより、単位面積あたりの収穫量が多い。

ウ 農家の努力により、国産農産物の価格は輸入農産物の価格より安い。

エ 水田の割合が高く、ヨーロッパに比べて牧草地が少ない。

【2】日本の林業・漁業について、グラフを見て、次の問いに答えなさい。

(1) 右のグラフは、日本の木材のおもな輸入先の割合を示したものである。次の文を参考にして、A～C の国名を答えなさい。

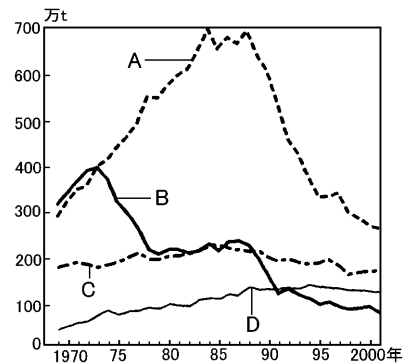


A 北アメリカ大陸にあるこの国は、国土の多くが冷帯で、タイガが広がっている。 ()

B 世界一の面積をもつこの国は、国土の大部分が冷帯と寒帯で、Aと同じようにタイガが広がっている。 ()

C 赤道の近くにあるこの国は、熱帯に属し、樹木が生いしげっている。 ()

(2) 右のグラフは、日本の漁業形態別漁獲高の移り変わりを示したものである。A～D の漁業について説明した文を、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。また、それぞれの漁業名も答えなさい。



ア 日帰り程度で行う漁業である。

記号() ()

イ 数日間かけて行う漁業である。

記号() ()

ウ 数十日から数か月かけて行う漁業である。

記号() ()

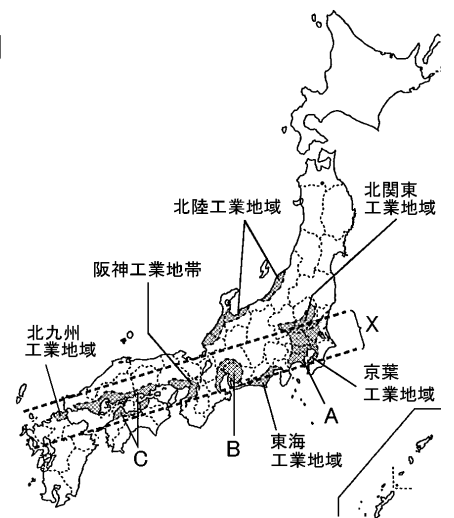
エ 大きくなるまで人工的に育てる漁業である。

記号() ()

【3】日本の工業について、右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 地図中の A～C の工業地帯・地域名をそれぞれ答えなさい。

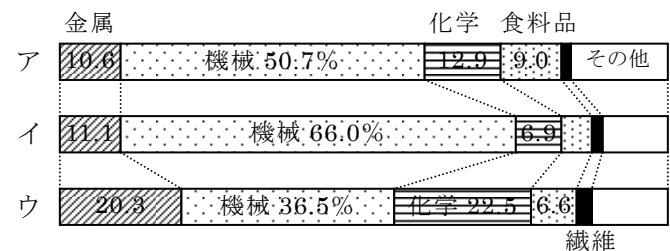
また、生産額のうちわけを表したグラフを下のア～ウから選び、それぞれの記号で答えなさい。



A() グラフ()

B() グラフ()

C() グラフ()



(2) 地図中の X は、臨海型の工業地域が形成されている範囲を示している。この地域は、何とよばれているか。 ()

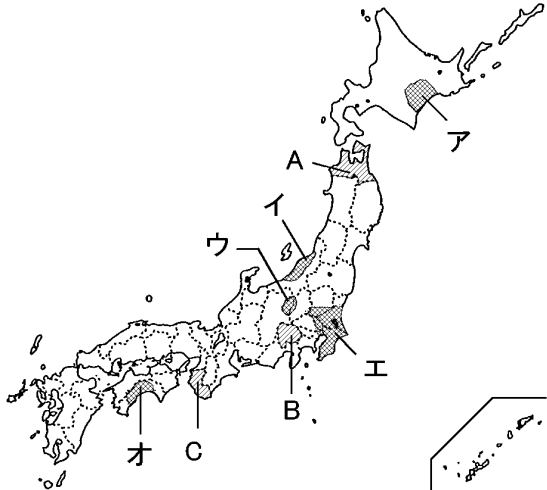
(3) 日本の近代工業は、地図中の X の臨海部を中心に発展してきた。工業地域が海沿いに発展した理由を、輸送の面から簡単に説明しなさい。
[]

(4) 新しい工業地域について述べた、次の文中の()にあてはまる語句を書きなさい。 ()

北関東工業地域をはじめ、東北地方や九州地方に新しい工業地域が形成され、空港やインターチェンジ付近に()の開発が行われ、工業の地方分散が進んだ。

得点	演習問題〔解答〕	実施日	月	日	氏名

【1】日本の農業について、次の問いに答えなさい。



(1) 地図中の A～C の県で栽培がさかんな果物を、次からそれぞれ選び記号で答えなさい。

A(イ) B(ウ) C(ア)

ア みかん イ りんご ウ ぶどう

(2) 次の文にあてはまる地域を、地図中のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

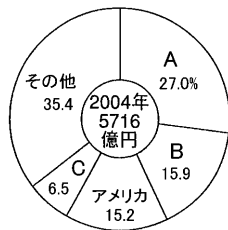
- ① この地域は、暖かい気候を利用して野菜の促成栽培がさかんである。 (オ)
- ② この地域は、冷涼な気候を利用して野菜の抑制栽培がさかんである。 (ウ)
- ③ この地域は、野菜や花などの近郊農業がさかんである。 (エ)
- ④ 日本でも有数の稲作地帯のこの地域は、コシヒカリの銘柄米で知られる。 (イ)

(3) 日本の農業の特色について述べた次の文のうち、誤っているものを選び、記号で答えなさい。

- ア アメリカの企業的な農業と比べると、規模の小さい自作農が多い。
- イ 品種改良や肥料の使用などにより、単位面積あたりの収穫量が多い。
- ウ 農家の努力により、国産農産物の価格は輸入農産物の価格より安い。
- エ 水田の割合が高く、ヨーロッパに比べて牧草地が少ない。

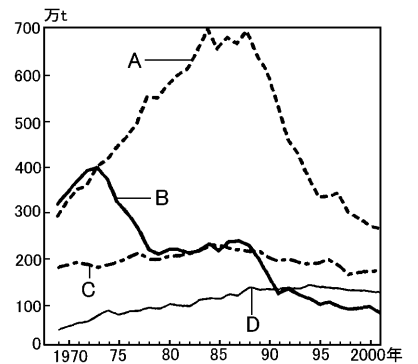
【2】日本の林業・漁業について、グラフを見て、次の問いに答えなさい。

(1) 右のグラフは、日本の木材のおもな輸入先の割合を示したものである。次の文を参考にして、A～C の国名を答えなさい。



- A 北アメリカ大陸にあるこの国は、国土の多くが冷帯で、タイガが広がっている。 (カナダ)
- B 世界一の面積をもつこの国は、国土の大部分が冷帯と寒帯で、Aと同じようにタイガが広がっている。 (ロシア)
- C 赤道の近くにあるこの国は、熱帯に属し、樹木が生いげっている。 (マレーシア)

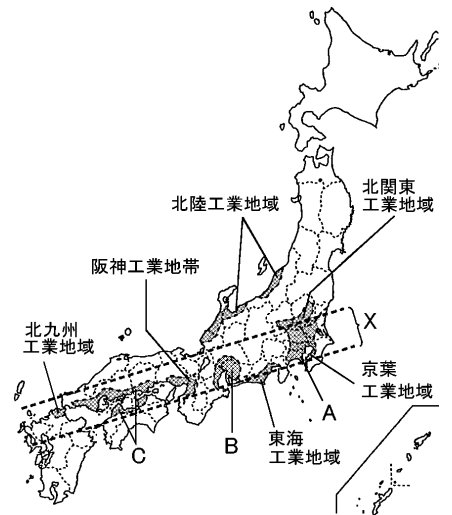
(2) 右のグラフは、日本の漁業形態別漁獲高の移り変わりを示したものである。A～D の漁業について説明した文を、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。また、それぞれの漁業名も答えなさい。



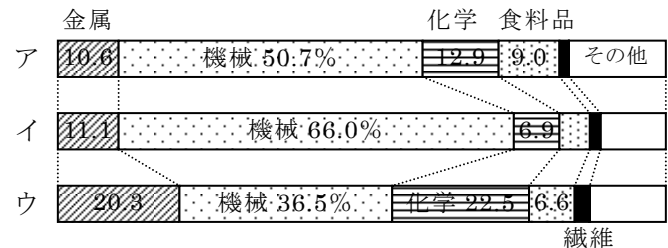
- ア 日帰り程度で行う漁業である。記号(C) (沿岸漁業)
- イ 数日間かけて行う漁業である。記号(A) (沖合漁業)
- ウ 数十日から数か月かけて行う漁業である。記号(B) (遠洋漁業)
- エ 大きくなるまで人工的に育てる漁業である。記号(D) (養殖)

【3】日本の工業について、右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 地図中の A～C の工業地帯・地域名をそれぞれ答えなさい。また、生産額のうちわけを表したグラフを下のア～ウから選び、それぞれの記号で答えなさい。



- A(京浜工業地帯) グラフ(ア)
- B(中京工業地帯) グラフ(イ)
- C(瀬戸内工業地帯) グラフ(ウ)



- (2) 地図中の X は、臨海型の工業地域が形成されている範囲を示している。この地域は、何とよばれているか。 (太平洋ベルト)
- (3) 日本の近代工業は、地図中の X の臨海部を中心に発展してきた。工業地域が海沿いに発展した理由を、輸送の面から簡単に説明しなさい。 (原料の輸入や製品の輸出に便利だから)
- (4) 新しい工業地域について述べた、次の文中の()にあてはまる語句を書きなさい。 (工業団地)

北関東工業地域をはじめ、東北地方や九州地方に新しい工業地域が形成され、空港やインターチェンジ付近に()の開発が行われ、工業の地方分散が進んだ。